

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、軟調な米経済指標を受けて引き続き対レアルでドル売りが優勢の展開となっており、引けにかけて2.99台半ばまでドル安レアル高が進行した。米国で公表された新規失業保険申請件数は26.4万件と前週比で減少したものの、4月生産者物価指数が前月比0.4%減と市場予想を下回った他、食品とエネルギーを除くコア指数も前月比0.2%へ低下(インフレ率の伸びは大きく抑制されている)。足許で弱い内容の米経済指標の公表が続いていることから、マーケットでは米国の利上げ時期が後退するとの見方が拡大し、新興国通貨全般に対してドル売りが優勢となる時間帯が目立っている。一方、ブラジル地理統計院(IBGE)の公表によると、3月小売売上高は前月比0.9%減と、2ヶ月連続の減少を記録。政府目標上限を大きく超過して推移するインフレ率や、10年ぶりの低水準まで落ち込む消費者信頼感など、ブラジル経済指標も米経済指標同様に不芳な数字が続いている。

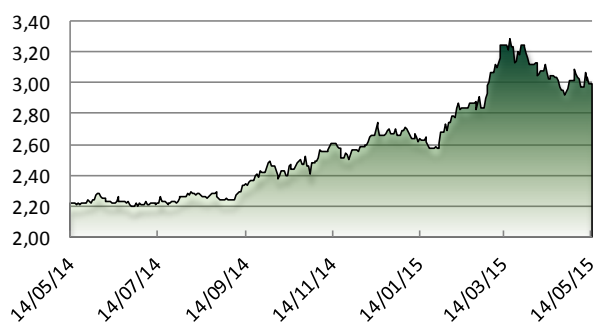
ブラジル議会下院は13日、失業保険給付の厳格化に続き、遺族年金や疫病手当など社会保障関連の歳出削減に寄与する法案を可決した。今回の法案は主に社会保障制度の乱用を防止することが目的で、最大で75億レアルの歳出削減効果が期待されているが、国内最大の労組や与党・労働党(PT)議員の一部造反もあり、歳出削減規模は当初案よりも縮小されている。法案は上院での承認も必要であり、現状問題なく可決される見通しであるが、ブラジルが投資不適格級への格下げを回避するためには、引き続き財政健全化策を円滑に推進させる必要がある。

マーケットデータ

Indicator	Unit	5月13日	5月14日	前日比	4月14日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,21	39,79	+0,58	38,98	+0,81
USD / BRL Spot	BRL	3,0395	2,9942	-0,0453	3,0633	-0,0691
USD / JPY Spot	JPY	119,15	119,18	+0,03	119,40	-0,22
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	56.372	56.657	+285	53.982	+2.675
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	234,5	230,3	-4,2	236,8	-6,5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,73	12,57	-0,16	12,49	+0,08
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,82	13,72	-0,10	13,25	+0,47
3 Months US Dollar Libor	%	0,274	0,274	+0,000	0,276	-0,002
CRB Index (国際商品指数)	Index	231,1	231,8	+0,7	219,0	+12,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

